

金属や水溶液の元素分析を承ります。

ICP発光分析装置による分析

測定原理

誘導結合プラズマに液体試料を霧化して導入するとプラズマ内部で熱エネルギー(10,000K)により原子が励起され光を発生します。これを分光器で元素固有のスペクトルに分け、各スペクトルの発光強度を濃度既知の標準試料と比較し各元素濃度(%, mg/L, ppmなど)を算出します。



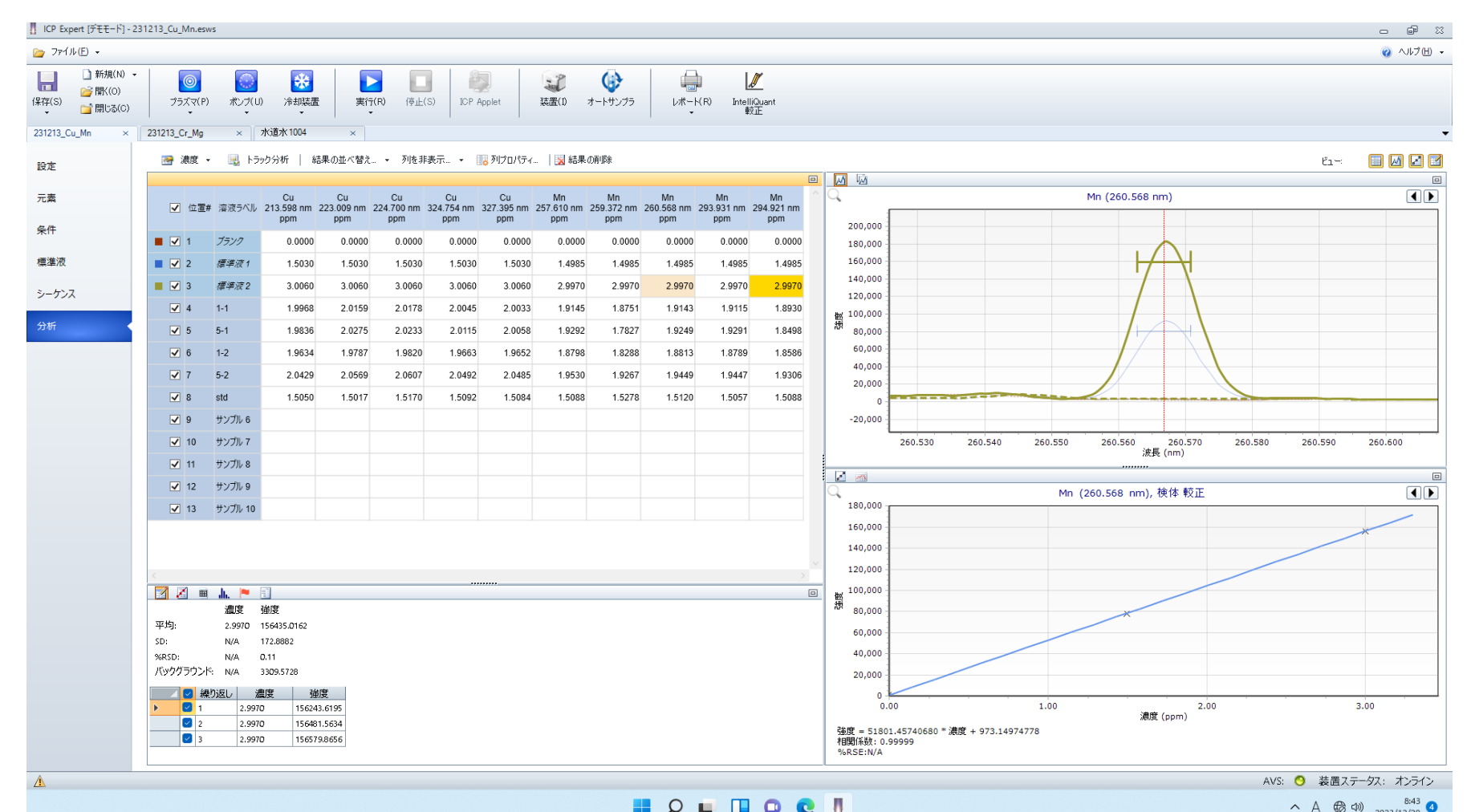
装置仕様

分光器：エシエル型(測定波長範囲 167~785nm)
検出器：マルチ型CCD検出器
アキシャル/ラディアル測光

メーカー：アジレント・テクノロジー(株)
型式：Agilent 5800 ICP-OES

代表的な分析依頼品

- 鉄鋼、銅合金、アルミニウム合金など
金属中の構成元素分析
 - 金属材料中の不純物分析
 - 岩石、鉱石に含まれる元素分析
 - 地下水、河川水、雨水の元素分析
- * 固体試料は酸分解や溶出などにより溶液化し、
液体試料は希釈やろ過などをして装置に導入します。



Agilent 5800 ICP-OESによる測定画面

利用料金

依頼試験：1試料1成分 9,670円(1成分を増すごとに1,590円を加える)

※酸分解など溶液化が必要な場合は別途手数料がかかります。



埼玉県産業技術総合センター

材料技術・事業化支援室 化学技術担当

TEL:048-265-1380 FAX:048-265-1334

北部研究所 材料・機械技術担当

TEL:048-521-0614 FAX:048-525-6052

